

5年 _____ 組 名前 _____

学習のめあて 「プラスチックごみ」を減らす取り組みを具体的に考えよう。

時	学 習 内 容	形 態
5	理科係から 学習ノートなどの配付。クラスのみみんなでめあてを読む。☺	一 斉
10	先生から 【課題1】海洋プラスチックごみが多い国とその原因	
20	【課題2】プラスチックごみを減らす取り組みを具体的に考える。☺ 【課題3】他の人の考えを知る。☺☺ ※静かに落ち着いて話し合う。	グループ
5	先生から まとめ	
5	振り返り&自己評価	個 人

【課題1】

第1位 _____

2位 インドネシア

3位 フィリピン

4位 ベトナム

5位 スリランカ

...

_____位 日本

この表は2010年に推計されたプラスチックごみの発生量が多い国をランキングにまとめたもの。こちらを見ると上位4位までは東アジアに集中していることがわかる。特に中国は非常に多くのプラスチックごみを排出している。これはアジア諸国のプラスチック製造事情やその地形に原因があると考えられている。

【課題1】アジア諸国で海洋プラスチックゴミが大量に出る原因は？

プラスチックは大量生産が簡単にでき、軽くて丈夫なのでいろんなシーンで利用されます。だから、アジアではとても需要の高い素材です。

第1位である中国では長江(ちょうこう)や黄河(こうが)、東アジアでもインダス川など多くの地域から支流がつながり、海へと流れ行く大きな川ばかりです。

不法に捨てられたプラスチックはこれらの川の流れに乗り、海へと流れ出てしまいます。このように廃棄されるプラスチックの多くはプラスチック容器包装の廃棄にあり、2018年の日本人口1人当たりの廃棄量はアメリカについて多いとされています。

また、日本は過剰包装の文化があるとされています。実際私たちの身近でも透明な袋や容器で包装をしているものや、ペットボトルとそのラベルなど様々な場所で使われていて、特に包装関係はリサイクルされることなく捨てられることがほとんどです。

【課題2】プラスチックごみを減らすために、自分が取り組めることは何か考えよう！
自分で チャレンジしてみたいことに☑しましょう。

- ①レジ袋をもらわず、マイバックを持って行く。
- ②プラスチック製のスプーンやフォークをもらわず、マイはしやマイスプーンなどを持つ。
- ③プラスチック製ストローをできるだけ使わないようにする。
- ④ペットボトルの飲み物を買わず、自分の家から水とうやボトルを持つ。
- ⑤繰り返し使える詰め替え用ボトルなどを買う。
- ⑥ごみのポイ捨てをせず、家に持って帰る。
- ⑦決められた場所や時間に分別してごみを捨てる。
- ⑧今、使っているものを最後まで大事に使い切る。
- ⑨牛乳パックやトレー、インクなど リサイクルする。
- ⑩捨てる時、できるだけごみを重ねてコンパクトにする。

これ以外にも、まだまだ私たちにできるプラスチックゴミ削減のための行動はあります。
まずはこのようなことから始めてみるのが大切です。小さな積み重ねが大きな力になります。😊

【課題3】さらにグループで話し合ったことをグループノートや黒板を使って、
交流しましょう。

●次回からは、自分で課題を見つけ調べ考える学習に入ります。

【自己評価】 A a B b C

【先生からの評価】 A a B b C